

鈴鹿川ふれあい懇談会で頂いた 主な意見に対する回答

【ふれあい懇談会開催日・開催場所・参加人数】

平成27年	9月18日：四日市市（楠・河原田地区）	【参加者18名】
平成27年	9月30日：四日市市（塩浜・内部地区）	【参加者29名】
平成27年	9月28日：鈴鹿市	【参加者26名】
平成27年	11月 4日：亀山市	【参加者45名】



四日市市【楠・河原田地区】



四日市市【塩浜・内部地区】



鈴鹿市



亀山市

鈴鹿川ふれあい懇談会の主な意見と回答

◆堆積土砂の撤去や樹木伐採について

【主な意見】

- 川に砂が溜まっている。特に河口部に砂が溜まっており、さらにはその上に樹木が繁茂している。これらが水の流れを阻害しているので、何とかして頂きたい。
- 川に砂が堆積して木が生えている状況である。川の流れを悪くしているのではないか。早急に対応するべき。
- 河床に土砂が溜まることで流水が流れず、県や市が管理する河川の方まで逆流してきて洪水時には不安だ。
- 全体的に川底が高くなっているので、豪雨の時に堤防を越水する恐れがある。中州状態になっているという中で、支川がオーバーフローするのではないかと心配だ。
- 鈴鹿川は土砂が堆積している。その上に樹木が繁茂しているため、水の流れを阻害しているのではないかと。砂を取って木を切って流れを良くするべき。
- 井尻頭首工上流の土砂堆積が多い。除去に困っている。
- 毎年「避難準備情報」が発表されるので、至急に河底の土砂を撤去して欲しい。

【回答】

- 目標流量流下時の家屋浸水被害を防止・軽減するため、必要な河道断面が確保されていない箇所については、水位低下対策として河道掘削や洪水流下の障害となる河道内樹木を伐採します。河川整備にあたっては、上下流や本支川のバランス等を考慮し、安全度が低下する区間がないように留意します。

◆地震・津波対策について

【主な意見】

- 地震等の災害対策についても、耐震・津波対策ということで、堤防の強靱化・補強を強く要望する。

【回答】

- 河川管理施設の必要な機能を確保し、設定津波水位に対して海岸における防御と一体となって津波による浸水被害の防止するために、必要に応じて耐震・液状化対策を実施します。

鈴鹿川ふれあい懇談会の主な意見と回答

◆堤防整備について

【主な意見】

- 鈴鹿川派川の近鉄橋梁のかさ上げと周辺堤防の早急な補強整備を
- 鈴鹿川派川の近鉄橋梁や内部川のＪＲ橋、内部橋などの所は設置から年数が経っていて堤防整備が遅れているように感じる。そちらの方の改修も進めてほしい。
- 定五郎橋から第二頭首工の区間で、定五郎橋より下流は堤防が無いので堤防整備をしてほしい。
- 左岸西堤防の改修を願います。５年以内に竜川の埋め立てを願います。地域住民（案）を参照してください。

【回答】

- 目標流量流下時の家屋浸水被害を防止・軽減するため、必要な河道断面が確保されていない箇所については、堤防整備を行います。河川整備にあたっては、上下流や本支川のバランス等を考慮し、安全度が低下する区間がないように留意します。
- 桁下高が不足するなどの橋梁については、施設管理者に対して技術的基準を踏まえ適切な指導を行います。

◆水利用について

【主な意見】

- 昔は、農水のための取水については自然取水出来たが、砂利採取等で河床が低下し、現在はポンプアップで電気が非常に大変な状況である。取水の実態などを加味してやって河川整備を行って頂きたい。
- 農業（米作）に必要な水量が少なくなっている。

【回答】

- 平成９年の砂利採取規制以前は、河床高が大きく低下していましたが、規制後は安定状態であります。
- 鈴鹿川は伏流しやすい地形や地質により、渇水時には表流水が絶える河川であるため、複雑な水利用実態の把握に努めます。

鈴鹿川ふれあい懇談会の主な意見と回答

◆河川環境について

【主な意見】

- 河口は自然が豊かなので、そういう環境を大事にしながら河川整備をしてほしい。
- 鈴鹿川の生物を増やすための環境整備をして欲しい。魚、亀、スッポンの生物が減っている。
- 神辺小学校の魚に対する教育の場、魚の生息場を造ってほしい。
- 第一、第二頭首工、井尻頭首工等の堰堤の魚道の改善が必要である。

【回答】

- 生物の多様な生息環境が保全・創出されるよう、河道整備を行う際には、多自然川づくりを推進します。
- 関係機関と連携し、既設魚道の機能改善に努めるとともに、支川の魚道が設置されていない取水堰についても、魚道整備により魚類遡上環境の改善に努めます。

◆河川利用について

【主な意見】

- 昔は子供たちが川に下りて遊んでいたが、今は雑木や雑草が生えて川に下りられなくなったので遊べなくなった。
- 高水敷を整備して、もっとスポーツなどが出来るようにしてほしい。
- 堤防の有効活用ということで、美観も含めてサイクリングロードや球技場などの整備が出来ないか。
- 整備するにあたっては、自然豊かな川ということで、散歩やサイクリングなど川を利用していく事が必要だと思うので、そういう整備を合わせてやって頂きたい。
- 河川の中の河川敷に、簡単なスポーツのできる場所を設けてほしい。

【回答】

- 鈴鹿川河川緑地などの憩いの場や交流の場として利用される既存の親水施設等を保全し、地域住民との連携や住民間の交流を創出する場となる空間形成や、歴史や文化にまつわる空間の保全・整備に努めます。

鈴鹿川ふれあい懇談会の主な意見と回答

◆防災情報について

【主な意見】

- ホームページで水位情報などを情報提供しているということだが、水位計の設置箇所が少ない。また、橋脚に水位の表示をしているのだから、カメラを使って見えるようにして頂きたい。
- インターネットの河川情報を結構活用しているが、出水の時は回線が混雑して反応が遅くなるので何とかして頂きたい。
- ホームページで見られる水位観測所や定点カメラの地点をもっと増やして欲しい。
- NHKに水位情報など色々と提供しているが、安楽川の情報についてもNHKに情報提供してはどうか。
- 橋に水位が表示されているが、左岸側からは見えるけど右岸側からは見えないので、両方から見えるようにしてほしい。
- 昨年、大雨特別警報が出されたが、川の情報とかよく分からなかった。川の水位とか雨の状況というのがとにかく知りたい。

【回答】

- 受け手の判断・行動に役立つ情報の整備とともに、それを確実に伝えるための体制づくりが必要であるため、雨量情報、水位情報、CCTVカメラによる画像情報等について、インターネットや携帯端末、地上デジタル放送等を積極的に活用し、分かりやすくかつ迅速に防災情報を提供いたします。

◆想定最大規模の洪水について

【主な意見】

- 気象条件が変わってきて、異常気象が異常気象では無くなってきている。想定外が想定内になっているのではないかと途中で、優先順位は有るだろうが、しっかりと河川整備をして頂きたい。

【回答】

- 想定最大規模の洪水が発生した場合でも人命を守ることを第一とし、浸水区域内の住民の避難のあり方を検討した上で、避難困難者の対策として早めの避難誘導や安全な避難場所及び避難路の確保など、関係する地方公共団体において的確な避難体制が構築されるよう技術的支援に努めます。